

ゆくはし いいとこさがし 良処探訪ウォーキング マップ

自主グループ/
健幸つなぎ隊のウォーキング班お勧め
史跡めぐりの10コース掲載!



1. ごあいさつ
2. ウォーキングをはじめる前に
3. ゆくはし良処探訪ウォーキング
 - ① 大橋を巡る
 - ② 行事を巡る
 - ③ 守田邸と石工の沓尾を巡る
 - ④ 蓑島を巡る
 - ⑤ 松山子安観音を巡る
 - ⑥ 果樹園・基地の新田原を巡る
 - ⑦ 国指定官衙遺跡と鉄鋼王のふるさとを巡る
 - ⑧ 偉人の里 稗田・前田・中川を巡る
 - ⑨ 延永長者伝説の里を巡る
 - ⑩ 古代寺院跡など古来ひらけた樺市を巡る

～ ゆくはし良処探訪 ウォーキングマップ発行のごあいさつ ～

ゆくはし健幸つなぎ隊は、「市民みんなで健康なまち
ゆくはしを楽しくつくろう！」のスローガンのもとに日々活動を
続けているボランティア団体です。

このたび、ウォーキング班が、市内外の史跡や景観を盛り込んだ楽しい
ウォーキングマップを作成いたしました。

健康のバロメーターは足の筋肉と心の豊かさではないでしょうか。このマッ
プをゆくはし市民に広く活用いただき、健康づくりに役立てていただければ
幸いです。

マップづくりを全面的にバックアップしていただいた行橋市健康づくり
推進係と、ウォーキング班員の皆さん、新たな健康づくりに心より
感謝申し上げます。

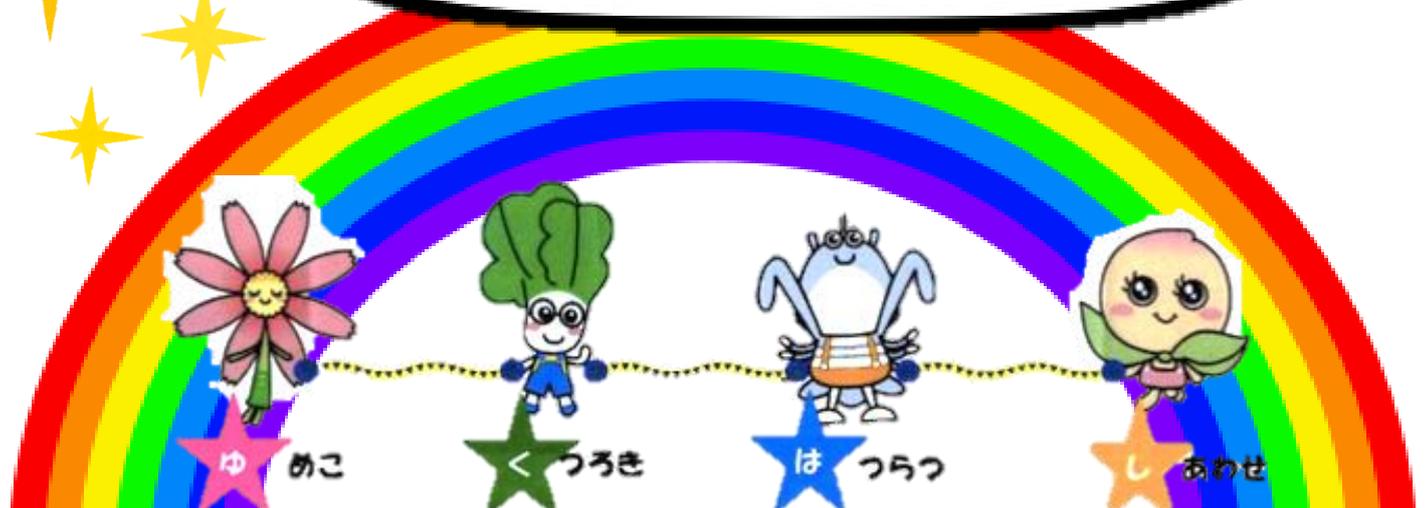
ゆくはし健幸つなぎ隊 隊長 森 岑而

このウォーキングマップは、ゆくはし健幸つなぎ隊の
ウォーキング班が、行橋市とその周辺地域の文化や歴史の名所を
めぐり、歩きながら郷土の良さを発見することを目的として開催した
67回の「ゆくはし良処探訪（よいとこさがし）ウォーキング」で作成したマップ
のうち10カ所を選んでまとめたものです。

当ウォーキング班は、「健康のために歩く」だけでなく、郷土の文化と歴史を探訪
して「歩くと同時に頭（脳）も活性化させる」ことをめざして、ウォーキングを
行っています。

誰でも故郷（ふるさと）は懐かしく好いところだと思っています。どこでも
他所に紹介したい良処（よいとこ）があるものです。ウォーキングコースの周辺に
ある良処を探訪し、学びながら楽しく歩いてみませんか。「気の合う仲間
と一緒に学びながら楽しく歩いていたら、いつの間にか1万歩以上歩いて
いた」というようなウォーキングをしたいものです。

ゆくはし健幸つなぎ隊 ウォーキング班一同



ウォーキングをはじめる前に

ウォーキングにはこんな効果がある！

- 自律神経が落ち着き**ストレスを解消**する
- 脚の筋肉から脳細胞へ刺激が伝わり**老化を防ぐ**
- 脂肪が燃焼し**肥満を防ぐ**
- 骨が強化されることにより**骨粗鬆症を防ぐ**
- 血行がよくなり**高血圧を抑える**
- 血糖値が下がり**糖尿病を防ぐ**
- 血流が増え脂肪を洗い流すことで**高脂血症を防ぐ**

靴選びが大事です！

足に合わない靴は疲れやすく、靴ずれをおこす可能性が高いです。試し履きをして、自分に合った靴を選びましょう。その際、両足とも履いてみてください。

つま先に親指1本分の余裕があり、幅にも多少のゆとりがあるもの

通気性、吸湿性のよいもの



靴底が適度に曲がるもの

軽くて靴底はすべらず安定しているもの

準備運動、整理運動をしましょう！

準備運動

ストレッチなどを行い、徐々にからだを温め、脈拍をゆっくりあげていきます。

ウォーキング

あごを引き、背筋を伸ばして、大きく腕を振り、膝の後ろは伸ばすようなフォームで行いましょう。

整理運動

急激な運動停止は心臓の負担になります。疲労回復のためにも、ストレッチを行いましょう。

1. 腰・股関節

両足を広めに開いて、つま先を少し外側に向け、腰を落として両膝を曲げ、その膝の上に手を置く。この体勢で、肩から体をひねる動きを左右ともに行う。



2. アキレス腱

足を大きく開き、前足膝は深く曲げ、後ろ足を後方へ押し出すように伸ばす。



3. 膝の曲げ伸ばし（屈伸）

前傾姿勢で膝に手をつき、膝を押すことで足の裏側の筋肉を伸ばし、その後膝を曲げてしゃがみこむ姿勢をとる。



4. 手首・足首

手首は両手の指を組んでそこを支点にし、足首はつま先を支点にしてどちらも回す。最後に手・足首ともに良く振る。



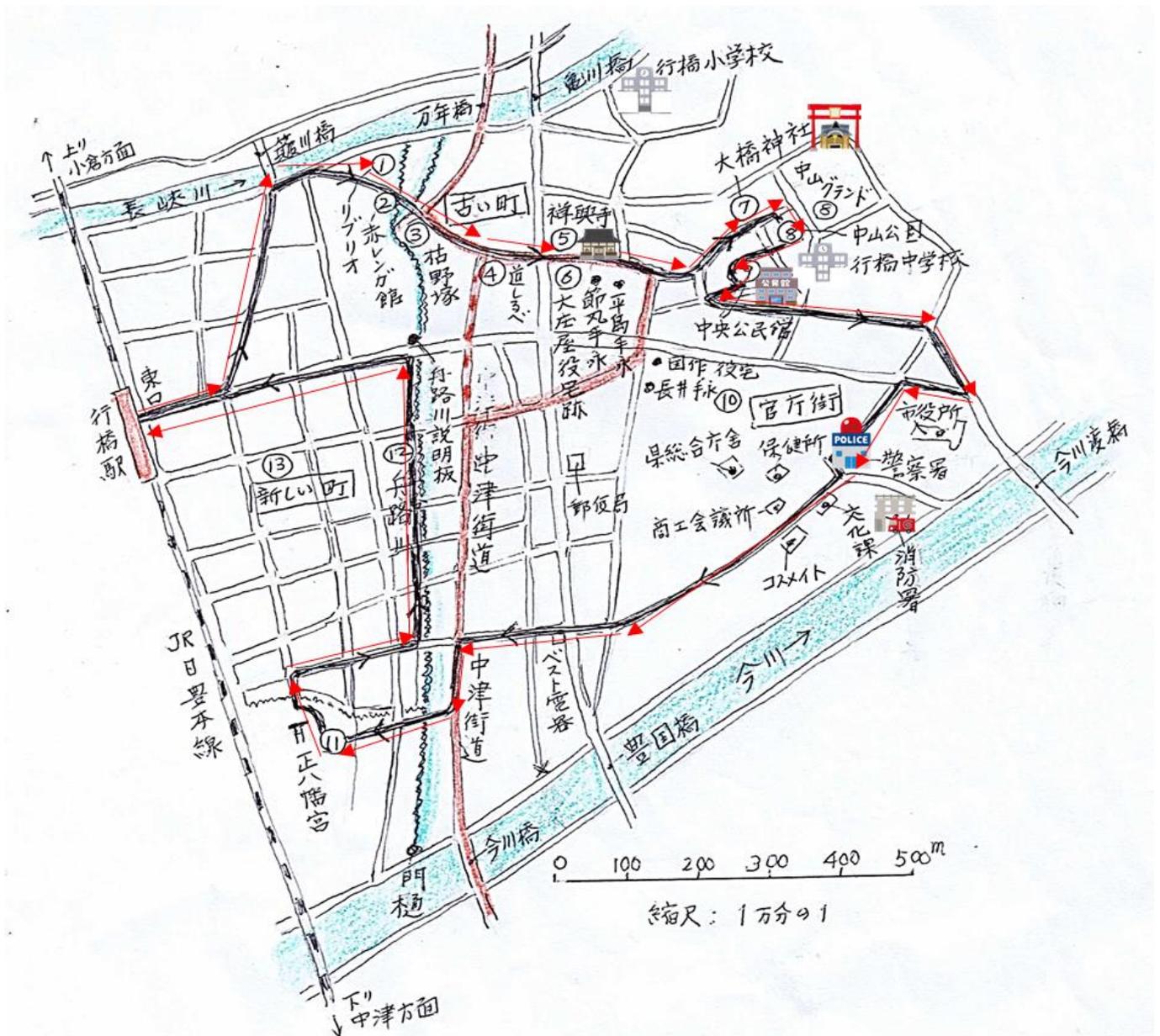
① ゆくはし 良好探訪ウォーキング 「大橋を巡る」

大橋は、大橋太郎伝説がある古い町と大正末期からの新しい町からなる。古い町は、行事と共に在郷の街を形成して行橋の基となった町であり、新しい町は行橋駅の東側に広がる田や畑を大正末期から昭和初期に開発して住宅地を造成し、今や行橋市の中心街となっている街である。そんな古い町並みと新しい町並みを歩く。

コース順路 (約5km)

| | | | | |
|-------------|----------|---------|----------|--------|
| スタート | ① リブリオ行橋 | ② 赤レンガ館 | ③ 枯野塚 | ④ 道しるべ |
| ⑤ 禪興寺 | ⑥ 手永の役宅跡 | ⑦ 大橋神社 | ⑧ 中山公園 | ⑨ 大橋公園 |
| ⑩ 官庁街 | ⑪ 正八幡宮 | ⑫ 舟路川 | ⑬ 新しい町なみ | リブリオ行橋 |

ゴール



① リブリオ行橋(行橋市図書館・文化交流施設)

行橋市図書館、文化交流施設は令和2年4月1日にリブリオ行橋として開館した。4階建ての建物で、民間委託事業として企業が運営している。

② 赤レンガ館(旧百三十銀行)

大正3(1919)年に百三十銀行行橋支店として建てられた有形文化財(建築物)
平成12年1月に行橋市指定 平成15年2月福岡県指定

③ 枯野塚(芭蕉句碑)

松尾芭蕉没後の宝永年間に井上元翠が建てたと伝えられ、全国各地にある芭蕉句碑中でも古い句碑として知られている。

④ 道しるべ

以前ここに在った山本ふとん店の店主が、明治年間に店の角に車がぶつからないように、また、よく道を尋ねられるので曲がり角に道しるべ建てた。「南中津道、西小倉道、東今元道」三方向指さした手も添えて刻んでいる。

⑤ 禪興寺

禪興寺は曹洞宗の小倉宗玄寺末寺である。仲津郡のキリシタン宗門改めを行った寺であり、また、享保大飢饉の餓死者供養塔がある

⑥ 手永の役宅跡

小倉藩は藩内の各郡をいくつかの手永に分け大庄屋を置いて統括させていた。ここは、節丸手永と平島手永の役宅跡である。

⑦ 大橋神社

境内に大きな「大橋太郎碑」がある。大正14年に建てられ、碑の裏には伝説の大要が碑文に刻まれているので見ていただきたい。

⑧ 中山グランド、中山公園

行橋市竹並出身で日本の鉄鋼王と言われた中山悦治が寄贈した。昭和24年6月10日に昭和天皇が行幸、ホルスタイン乳牛の頭を撫でられたところから、中山悦治のレリーフと頌徳碑が建っている。

⑨ 大橋公園、中央公民館

- ・江戸時代 大橋御茶屋(藩の公式宿泊施設) ・明治3年 大橋洋学校
- ・大正3年 京都郡役所～農林事務所

⑩ 官庁街

昭和50年代から官公庁が集中して建てられた新しい町並みである。市役所、警察署、消防本部、商工会議所、県総合庁舎、京築保健所など

⑪ 正八幡宮(大橋・正八幡神社)

昔、夏越しまつりの紛争により、寛永10年に行事正八幡神社から分社した。市指定文化財の木造八幡神像が祀られている。境内には、行橋市内で最も多くの碑石が建てられている。

⑫ 舟路川

江戸時代、仲津郡と田川郡の村々は年貢米を舟に積んで御蔵所(行橋小学校の場所)に納めていたが、今川を利用して舟での年貢を納めるのが不便であり、また困難であったことから、今川と長狭川の間、約1kmにわたり掘削工事を行い人工的に運河を作ったものである。今は、風流に舟路川と呼んでいる。

⑬ 駅前新しい町なみ

行橋駅周辺は高層マンションが建ち並ぶ新しい町づくりが行われ、「行橋市都市計画マスタープラン」の中心的な役割となっているまちである。

② 赤レンガ館



④ 道しるべ



⑤ 禪興寺



⑦ 大橋神社



⑨ 大橋公園



⑪ 正八幡宮



⑫ 舟路川

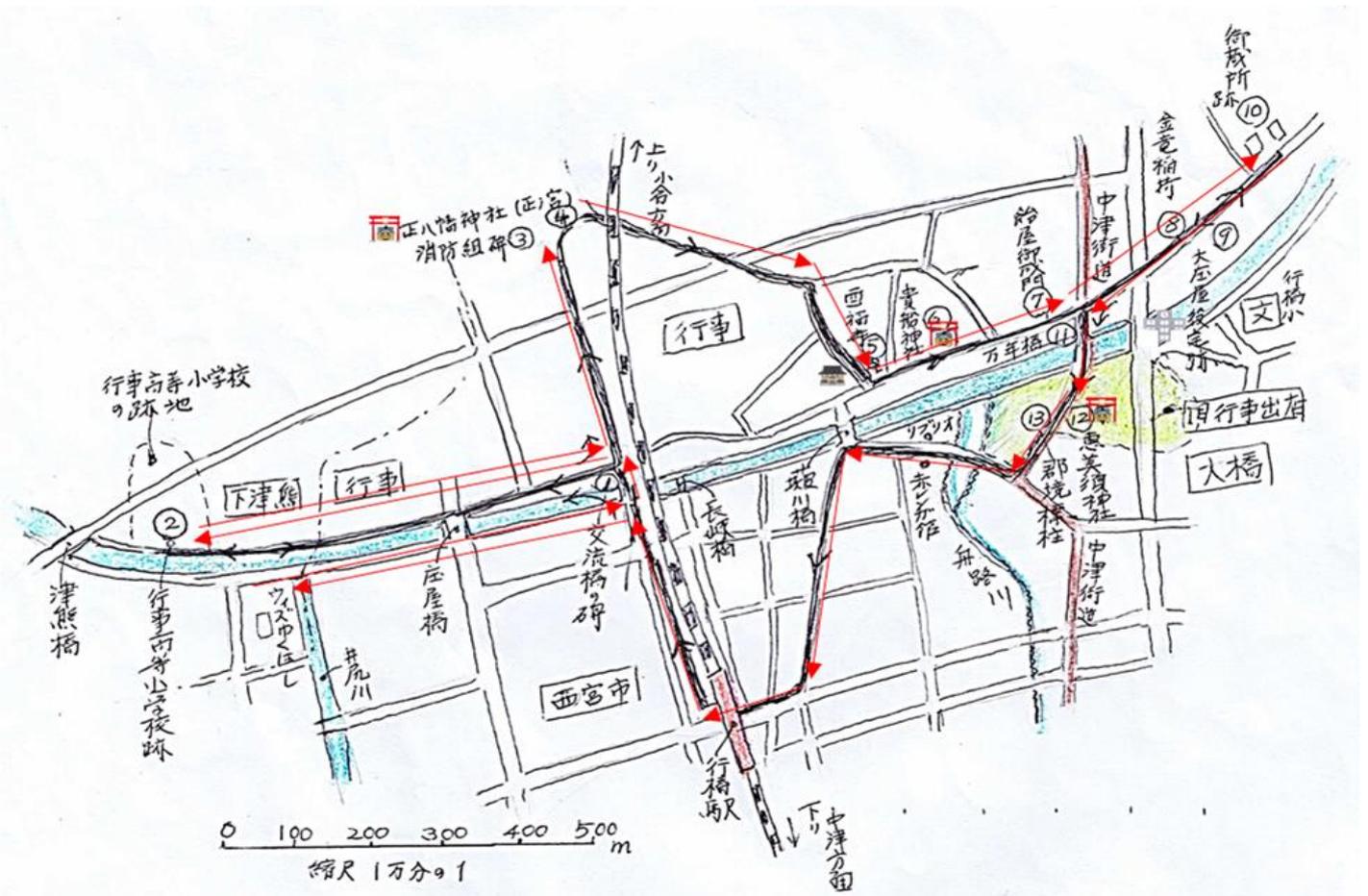


② ゆくはし良処探訪ウォーキング 「 行事を巡る 」

行事は、古くから栄え行橋市の中心となった街で、東西に流れる長狭川沿いに旧田川道があり、また、南北方面には旧中津街道と交わっている地であったことから、水陸交通の重要拠点として発展し、豪商や大庄屋の役宅・藩の蔵所などがあった処である。この歴史ある行事の街並みを昔を偲んで歩く。

コース順路 (約5km)

| | | | | |
|--------------------|-----------|----------|------------|------------|
| スタート | ウイズゆくはし | ① 交流橋横の碑 | ② 行事高等小学校跡 | ③ 消防組創設報功碑 |
| ④ 正八幡神社 | ⑤ 西福寺 | ⑥ 貴船神社 | ⑦ 行事飴屋 | ⑧ 金竜稲荷大神 |
| ⑨ 手永大庄屋役宅跡 | ⑩ 御蔵所・牢屋跡 | ⑪ 万年橋 | ⑫ 恵美須神社 | ⑬ 郡境標柱跡 |
| ウイズゆくはし ゴール | | | | |



① 交流橋横の碑

昔の行橋駅裏手一帯は旧国鉄の機関区があり、これを記録する珍しい蒸気機関車の絵入りの記念碑が平成11年1月に設置された。行橋駅東口の広場にも機関区の碑がある。

② 行事高等小学校跡

明治19年の小学校令で、京都郡に唯一、1校の高等小学校が設置され、明治29年に現在地に移転し大正4年3月廃校となった。森嶋外がここで倫理学の講演を行なった。

③ 消防組創設報功碑(正八幡神社の前に建つ)

行橋で最初の消防組で、明治16年に建立されたもの。

④ 正八幡神社(正の宮)

草野・行事・長音寺の産土神で、境内には猿田彦大社7基と北田寿太郎の歌碑がある。明治34年11月15日に森嶋外が訪れている。

⑤ 酉福寺(ゆうふく寺)

幕末に京都郡のキリシタン宗門改めを行った寺である。蘇鉄の下に芭蕉句碑があり、これは大正6年に北田寿太郎が建立したもの。享保年間の大飢饉の供養塔がある。

⑥ 貴船神社

9月1～2日に風鎮債が行われ、二百十日の台風を鎮め豊作を祈る祭りで、約千個のボンボリが灯される。また、与左衛門キツネとお染カップの民話が残されている。

⑦ 行事飴屋と御成門

飴屋は宝永年間から約200年にわたり、豊前の国有数の豪商として栄えた。御成門は天保期に建てられ、藩主が領内巡検に際し入門されたので「お成り門」と称されている。市の有形文化財(建造物)平成13年10月1日指定

⑧ 金竜稲荷大神

境内に2mの大きな「猿田彦大神」の碑があり、明治29年に建立された。左奥に地蔵堂があり、その前の「修行大師像」は昭和19年に建立された。

⑨ 手永の大庄屋役宅跡

京都郡の手永(延永、新津、久保、黒田)大庄屋の役宅がここに集中して建ち並んでいた。なお、郡屋は10号線あたりにあったと思われる。

⑩ 御蔵所・牢屋跡

年貢米を納める藩の御蔵所があった所で、その跡地に、行橋裁判所と行橋検察庁が並んで建っている。昔、蔵の脇に牢屋があった。

⑪ 万年橋

豪商「飴屋」が架けた橋である。親柱が立派な石造りであったので架けかえる時に、北側の柱は貴船神社の裏に、南側の柱は恵比須神社の社殿前(その後中央公民館右側に移設)に移して保全した。

⑫ 恵比須神社

えびす神は、海に関する職業の漁夫などに信仰される神である。境内には宮相撲力士の「八幡山八郎兵衛」の碑があり、天保9年6月に建立された。

⑬ 郡環標柱跡

京都郡と仲津郡の境に建っていた標柱で、現在は市役所西側に移設されている。

① 交流橋横の碑



④ 正八幡神社



⑤ 酉福寺



⑥ 貴船神社



⑦ 行事飴屋



⑧ 金竜稲荷神社



⑫ 八幡山八郎兵衛



③ ゆくはし良処探訪ウォーキング 「 守田邸と石工の沓尾を巡る 」

守田家19代守田房吉は、細川忠興の命により今井から沓尾に移住し沓尾港を開いた。石工辻氏も細川忠興に従って豊前に来て沓尾に移り住んだ。市文化財の守田蓑州旧居、松山神社、香円寺、龍日売神社、鯨塚、姥ヶ懐、石切丁場など石に関するものも多く見どころ一ぱいの沓尾を一巡する。

コース順路 (約6km)

| | | | | |
|-------------|----------|------------|---------|-------|
| スタート | 今元公民館 | ① 大国主神社 | ② 道しるべ | ③ 香円寺 |
| ④ 守田家 | ⑤ 松山神社 | ⑥ 神勅碑 | ⑦ 龍日売神社 | ⑧ 鯨塚 |
| ⑨ 姥ヶ懐 | ⑩ 長井沓尾漁港 | ⑪ 金比羅神社 | ⑫ 石切丁場跡 | ⑬ 庚申塔 |
| ⑭ 袂川終点標柱 | 今元公民館 | ゴール | | |



① 大国主神社

神社横の千田分家の千田政七が出雲の大社教を信仰して創建した。

★「庚申之塔」享保9(1724)年銘 ★入口の左右のしめ柱の和歌

② 道しるべの常夜燈

「是より南祇園社道 東金ひら道」

「嘉永四亥六月吉日(1851) 願主 嶋屋太兵衛」

③ 香円寺

境内に享保大飢饉(村人の3割が餓死)餓死者供養塔があり、享保20年に村人が建立した。太平洋戦争で戦没した沓尾出身の兵士33名を合葬した「護國之英霊」塔や境内と寺の裏山には石工辻一族の墓がある。

④ 守田家(旧守田蓑州旧居)

この建物は、江戸時代末期に27代当主守田蓑州によって建てられたもの。

また、守田家は代々大庄屋であり、19代当主房吉は黒田藩を出奔し今井に匿われていた後藤又兵衛と交流があり、又兵衛が大阪城に旅立つとき、房吉は娘久子と槍を託され、その後久子と結婚している。

⑤ 松山神社

祭神: 宇賀之神、菅原神、杉光治神、守田神、松山神

★ 芭蕉句碑「明月や門にさし来る潮かしら」

★ 山県有朋の書「江山豁如」碑

⑥ 神勅碑

北部九州では珍しい磨崖碑で、三条実美筆「宝祚之隆当与天壤無窮者矣」近くに杉孫七郎書「蓑州守田翁祝寿碑」がある。

⑦ 龍日売神社

境内に市内では古い石造物群がある。・石灯笼5基(1667~1780年)

・鳥居(1759年) ・庚申之塔(1682年)

⑧ 鯨塚

明治36年2月28日、沓尾・蓑島の海岸に長さ約17mの鯨が現れたが、地元で対応出来ず山口県の仙崎や長崎のモリ師を雇って捕鯨した。

新田原駅から歩いて多数の鯨見物が現れ、観覧料を取ったと言われている。

⑨ 姥ヶ懐(英彦山禊ぎ場)

海幸、山幸の神話にまつわる伝説がある。英彦山神社から歩いてここを下って来て禊ぎをし、汐井採りを行う行事が昔から続けられている。

⑩ 長井・沓尾漁港入口

長井・沓尾共同漁港が人工島(長寿橋で結ばれている)に完成した。

⑪ 金毘羅神社参道入口の地蔵

高さ180cm、安政6(1859)年建立

⑫ 石切丁場跡

石工辻一族の採取場の跡。辻氏は、細川忠興のお抱え職人として堺から沓尾に来た。

沓尾の山には花崗岩があり、大阪城西の丸の石垣構築のため石垣用石材を積みだしている。また、鳥居・石灯笼・狛犬・石階段・石碑など京築地区一帯に辻一族の石造品が広く残っている。

⑬ 庚申塔2基

「申田彦大神」寛政3年 「猿田彦大神」明治41年

⑭ 秣川終点標柱 (新しい橋脚工事が行われていて、この標識は除去されている)

① 大国主神社



④ 旧守田蓑州旧居



⑤ 松山神社



⑥ 神勅碑



⑦ 龍日売神社



⑧ 鯨塚



⑨ 姥ヶ懐



① 百手祭的場

室町時代から行われている行事。蓑島神社の祝詞と法泉寺・西方寺・浄念寺の読経が毎年5月21日に行われ、目に見立てた大きな的を二人の射手で射る神事。
市の無形民俗文化財指定

② 水軍の井戸

海上の小島なのに貴重な飲料水に恵まれているので、村上水軍の拠点となっていた。
今も数箇所の井戸が残っている。

③ 庚申塔群

西方寺の門前に元禄・享保年間(約300年前)の古い庚申塔が4体集められている。

④ 西方寺

今井の西福寺(浄土宗)の末寺で、文政2(1819)年に現在地に移る。
寺院内に「享保大飢饉の供養塔」や「日本廻国塔」等の珍しい碑がある。

⑤ 貴船神社跡

今は社殿はなく「キンネンサマ」と呼ばれる石殿がある地。昔、舟を繋いだ「もやい石」と253年前(明和5年)の石灯籠がある。

⑥ 菅原神社

菅原道真は椎田でなく蓑島に上陸したという言い伝えがある。大宰府に行くには蓑島の方が便利が良い。境内には古い石造の鳥居・燈籠・手水鉢等がある。
平成14年に海賊大将藤原邦吉の記念碑が建てられた。

⑦ 稲荷協会本部

昭和31年6月に、初代教師 池田あやのにより完成した。

⑧ 地藏堂

昔、島一番の大きな松があり「地藏松」と呼ばれていたが昭和30年頃に枯れた。
「大乘妙典所国巡礼」碑 文化3(1806)年建立。

⑨ 恵比寿神社と金比羅神社

金比羅さまと同じく恵比寿さまも漁民が信仰する神様である。

⑩ 浄念寺

豊津峰高寺(浄土宗)の末寺で宝永年間に再建されたと伝わる。境内に地藏堂がありこの地藏菩薩は海中から出た石造で霊佛と言われている。

⑪ 磯村保平宅跡

保平は20歳で魚問屋「磯村屋」を相続し32歳の若さで蓑島を代表する郡会議員に選出され大正元年に竣工した蓑島橋の架橋事業に尽力した。
大正15年に蓑島漁業組合が発足したため「磯村屋」は没落した。

⑫ 法泉寺

今井の西福寺(浄土宗)の末寺で蓑島の海賊退治で活躍した「海門入道」が開祖し元禄年間に再興した。蓑島神社で百手祭があるときは当寺の住職が祈願文を奉り、般若心経を誦ることが古来からの慣わしである。

⑬ 蓑島神社

起因は古く神武天皇が日向から北上する際に蓑島に逗留し天照大神を祀り、その行在所に島民が祠を建てた。神功皇后が三韓征伐の後、蓑島に立ち寄ったことから天照大神・神武天皇・神功皇后の三柱を一社に合祀した。現在の社殿は明和5(1768)年に建立され他にも燈籠・狛犬等がある。
また、蓑島出身の大関「蓑島権太夫」の袂石が境内にある。

④ 西方寺



⑤ 貴船神社跡



⑥ 菅原神社



⑧ 地藏堂



⑨ 恵比寿神社



⑩ 浄念寺



⑬ 蓑島神社



① 昭和初期の旧郵便局

昭和11年11月建築、昭和26年10月まで15年間新田原郵便局として使われた。昭和初期の洋風建築の郵便局舎として貴重である。

② 道しるべ「ぎをん道」

「中津街道」「くぼて道」「ぎをん道」の交差点に建つ道標である。

人差し指の形を刻み、その下に「ぎをん道」と刻まれ、側面は「明治十九年一月建立、願主 築城郡湊村 蛭崎壯太郎」と記している。

③ 高瀬の勝手大神社

社伝によれば、覗山城主の高瀬太郎種忠が天慶元年(938年)に創建。

武力の神を祀る。高瀬の住民30戸が明治17年から35年まで、2,000円の神社基金を積み立てたことを記念する碑「本社基金蓄積記念碑」が立っている。

④ 虎御前の祠と上人塚の伝説

・高瀬太郎の妃、虎御前は顔中に吹出物(カサ)ができたので城を出てここで行き倒れた。「私が死んだら顔に笠をかぶせて下さい。同病の人を救います」と言って死んだので、村人は祠を建てた。吹出物ができた人は小さな傘を供えろという。

・城井の殿さまから高瀬太郎を諫めるために派遣された高僧が、覗山から降りてきた太郎と出会ったが馬から降りなかったので無礼討ちにされた。村人は僧を葬り、経の一字づつを書いた小石を塚に埋めた塚をつくり、目印に松を植えた。塚の前を馬に乗ってまま通り過ぎると馬があばれ落馬するという。

⑤ 日本回国忌

虎御前祠・上人塚のすぐ隣の墓地にある小さな石祠内に収まっている。日本国内各地のお寺を巡礼した記念碑(市内に5基あるうちの1基)。

⑥ 正覚院

寺の入口に「嵯峨神野寺・正覚院」と「真言宗、醍醐派、禎光寺」の標札がかかっている。境内に大きな弘法大師立像や西国三十三観音霊場の石仏巡りなど、色々な仏が並んでいる。近くにある松山子安観音堂の2月18日の例祭で、子安観音堂の広場において護摩焚き行事を行う。

⑦ 馬場・正伝寺

浄土宗西山派、松山子安観音堂を建てて管理している。

⑧ 道しるべ「従是東くわん音道」

子安観音堂への登り口に建ち、横に市が建てた子安観音の説明板がある。

⑨ 松山子安観音堂

16世紀の天正年間、下毛郡高瀬村(中津市)の観音堂が焼けたとき、観音木像に火がついた。木造は空を飛び馬場の松山に降りた。正伝寺2代靈空和尚夢枕に焼けた仏が立ち「婦女の安産を守り、子に乳を与える観音様が困っている」と言った。和尚は松の下の仏を見つけ、村人と相談してここにお堂を建て祀ったと伝えられる。毎年、2月18日に大祭があり修験者の護摩焚きや素足での火渡りなどの行事があり、多くの一般参拝者がお参りする。

③ 勝手神社



④ 虎御前の祠



⑥ 正覚院



⑦ 正伝寺



⑧ くわん音道



⑨ 松山子安観音堂



⑨ 護摩焚き



⑥ ゆくはし良処探訪ウォーキング 「果樹園・基地の新田原を巡る」

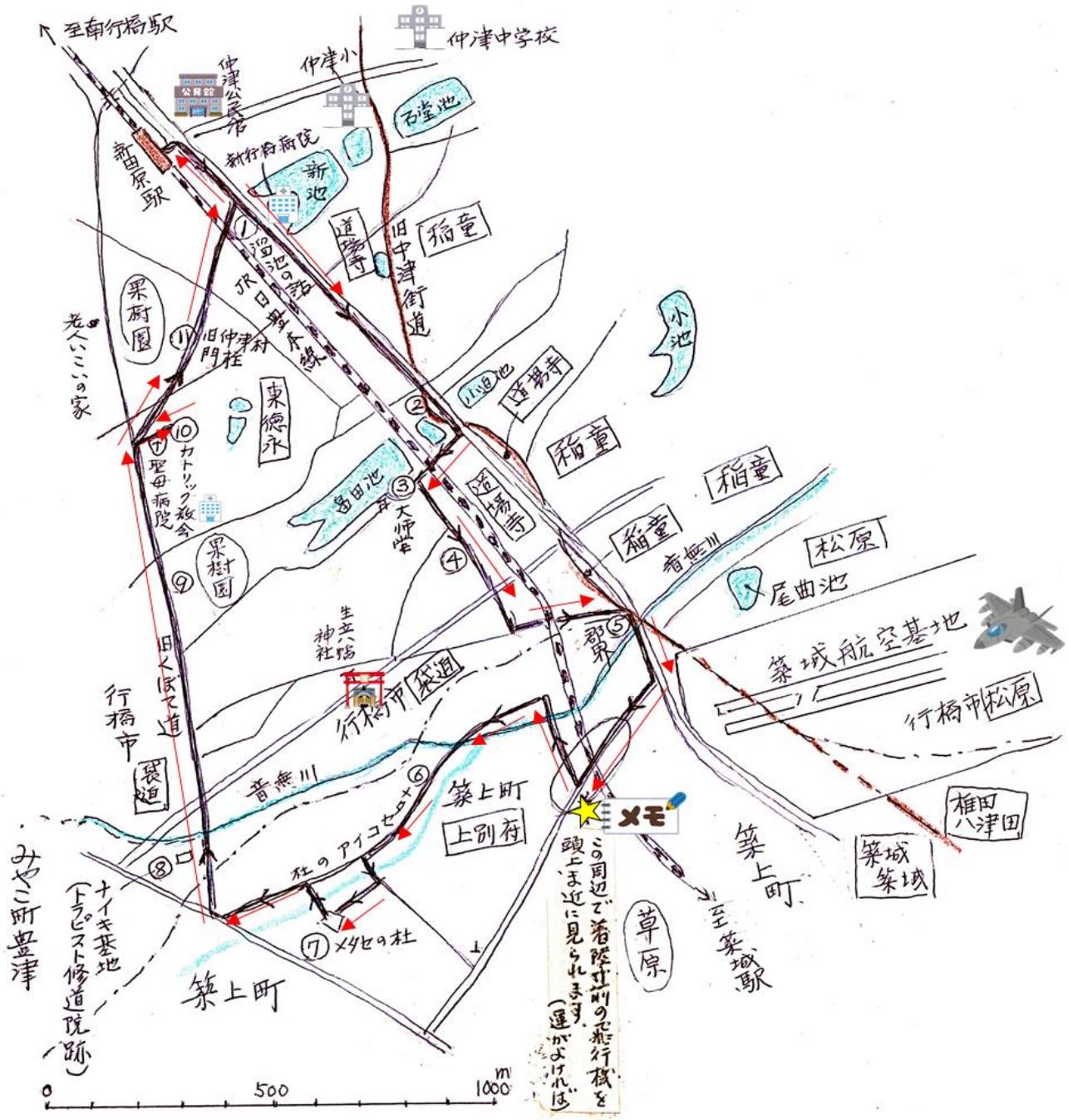
昔、長者原と呼ばれた台地は古戦場となったが、明治に鉄道が開通したことから移住者が来て住み、果樹園をひらき、教会を建て、県下有数の果樹園地帯となった。

昭和14～18年にかけて航空基地が誘致されたため、果樹園は徐々に廃止され、広い草原となり、日本ばなれした景観の地となった。そんな広々とした解放感のある風景を体験しながら歩く。



コース順路 (約7 km)

| | | | | |
|-------------|-----------|------------|----------|------------|
| スタート | 新田原駅 | ① 溜池の話 | ② 中津街道の跡 | ③ 大師堂 |
| ④ 果樹園撤去跡 | ⑤ 郡界 | ⑥ メタセコイアの森 | ⑦ メタセの森 | ⑧ 修道院跡 |
| ⑨ 果樹園地帯 | ⑩ カトリック教会 | ⑪ 旧仲津村門柱 | 新田原駅 | ゴール |



① 溜池の話

当地は瀬戸内気候帯に属しているため、夏の降雨が少なく各地に農業用の溜池が作られた。仲津校区は市内で最も多い30か所以上の溜池がある。

② 中津街道の跡

旧中津街道の曲った個所に国道10号線が重なったが、畠田池の中に曲った個所の先端が三日月状に残った。こういう三日月状の道路跡は、中津街道沿いに数か所残っているが市内ではここだけ。

③ 大師堂

明治30年に、畠田池の中に鉄道を通す工事中に池の堤から五輪塔などが多数出土したので、これを集めて大師堂を建てた。平成12年までは、新四国八十八ヶ所霊場の一つとして巡礼が訪れていた。(最近撤去された)

④ 果樹園撤去跡

昭和40年頃から航空機がジェット化し、滑走路の延長線上の果樹や住居の立ち退きが進められた。その跡地が広大な草原となっている。

⑤ 郡界(ぐんざかい)

昔の仲津郡と築城郡の境界。仲津郡の道場寺村・稲童村・松原村と築城郡の築城村の4つの村の接点である。

⑥ メタセコイアの森

航空基地の滑走路の延長線上にあるが、音無川が流れる谷になっているので、航空機の発着の支障とならなかった。そのため、メタセコイアの森が谷に連なっている。メタセコイアは湿地に生えていて、根の呼吸のため気根がニョキニョキ突き出している。日本名「あけぼの杉」と言う。



⑦ メタセの杜(道の駅)

築上町にある物産館で、敷地内に芝生広場などがあり子供連れも多い。

⑧ トラピスト修道院跡(現ナイキ基地)

トラピスト修道院は、大正15年にフランス人牧師が祓郷皆見(みやこ町)に開設した。昭和50年頃に滑走路延長にあることから立ち退き、そのあとナイキ基地が入った。

⑨ 果樹園地帯

旧くぼて道沿いに果樹園地帯が残っている。

⑩ カトリック教会

長崎県五島から移住して果樹園をひらいた人々が、昭和5年に教会を開設した。木造の聖堂は昭和8年に建てられたが、昭和50年に新しい聖堂が横に建てられたことから、木造の旧聖堂は選挙の際の投票所などに利用され、地域の人々に親しまれていた。その後、平成10年春に新しくテレジア館として建て替えられた。ルルドの泉や十字架の墓地などもある。

⑪ 旧仲津村役場の門柱

仲津村役場は仲津小学校近くの中津街道沿いにあったが、昭和29年に行橋市に合併した後、この場所に移設された。市内で旧村の石造品が残っているのはこれだけである。

③ 大師堂



④ 果樹園撤去跡



⑥ メタセコイアの森



⑩ カトリック教会



⑩ ルルドの泉



⑪ 旧役場の門柱



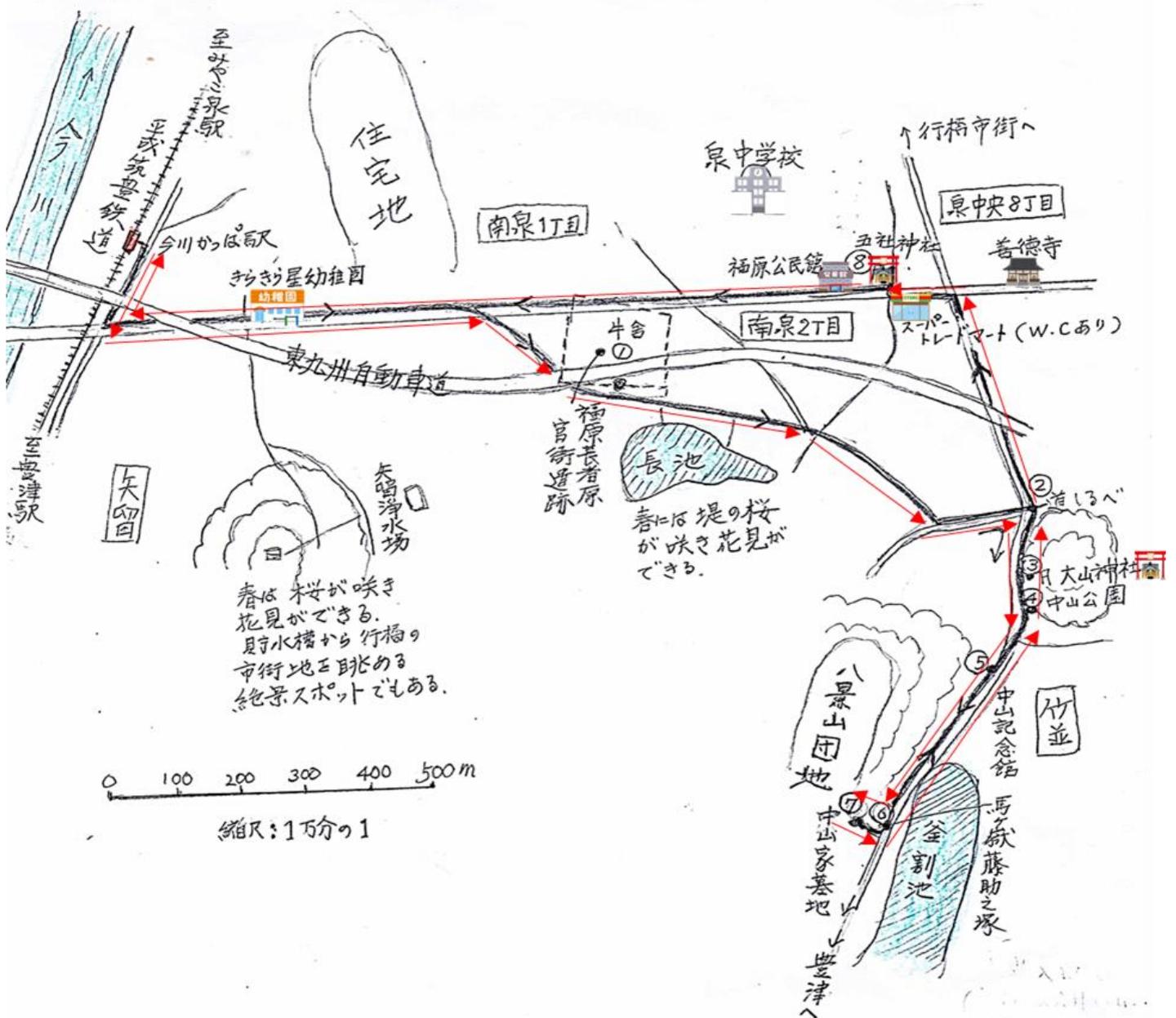
⑦ ゆくはし良処探訪ウオーキング「^{カンガ イセキ}国指定官衙遺跡と鉄鋼王のふるさとを巡る」

奈良時代の豊前の国府候補地の一つで、国指定史跡となっている「福原長者原官衙遺跡」や一代で鉄鋼一貫設備をつくり上げて「日本の鉄鋼王」と呼ばれた中山悦治のふるさとを訪ねて歩く。



コース順路 (約5km)

| | | | | |
|-------------|------------|-----------|---------|----------|
| スタート | 今川かっぱ駅 | ① 官衙遺跡 | ② 道しるべ | ③ 大山神社 |
| ④ 中山公園 | ⑤ 中山記念館 | ⑥ 馬ヶ嶽藤助之塚 | ⑦ 中山家墓地 | ⑧ 福原五社神社 |
| 今川かっぱ駅 | ゴール | | | |



① 福原長者原官衙遺跡(国指定遺跡・平成29年10月13日指定)

大化の改新により大化2年(646)に全国66国2島に国府が設置された。豊前国府は、みやこ町豊津の「豊前国府跡公園」の地が8世紀中ごろに建設され、12世紀前半ごろまで存続した。奈良時代当初の国府はどこにあったのかはまだ解っていない。全国で判明している国府跡は、「長者」や「長者屋敷」など「長者」小字名に存在しているので、ここも何かあると推定されていた。平成22年からの東九州自動車道建設工事で牛舎であるこの土地を発掘したところ、回廊・大溝・八脚門の南門跡などが発見された。奈良時代前半の建造で、150m平方の九州最大級の大きさの役所であるので国指定史跡に指定された。だが確定的な出土品がないので国府候補地の1つにとどまっている。将来道路が4車線に拡張されるまでの間、南門付近の用地を借りて行橋市が「南門広場」として整備し公開した。

② 道しるべ

市内に12本あるうちの1本。「左ゆくはしみち(西面)、右今井ぎをんみち(南面)」「明治 33年1月(北面)、東犀川村 村上直七、泉村 千田口太郎、今元村 末次佐平 同村 林■■■(東面)」

③ 大山神社

竹並の氏神、大山祇神を祀る。狗犬、鳥居など中山悦治が寄進した。

④⑤ 中山公園、中山記念館

中山悦治の関連施設
中山記念館は古い住宅で風格がある。普段はしまっている。

⑥ 馬ヶ嶽藤助之塚

中山家墓地入口右側にある宮相撲力士の墓。明治21寅6月4日亡。

⑦ 中山家墓地

行橋市で最も大きくて立派な墓地で釜割池を見下ろして景色がよい。

④⑤⑦関連 財界の偉人、中山悦治

中山悦治は明治16年に泉村竹並の庄屋の家に生まれる。
明治36年豊津中学入学(小宮豊隆と同級生)、家運傾き2年で中退した。
その後は、色々な職業を転々として(カンカン虫、駅夫、炭鉱夫、行商人など)
八幡で人夫供給支配人となった後、尼崎で亜鉛メッキ(トタン)工場を建てて成功し、大阪に出て(株)中山製鋼所を創立し、遂に日本の鉄鋼王といわれるに至る。
松下幸之助や鳥居信次郎(サントリーの創業者)などの5名で太閤会をつくる。
故郷に各種の寄附を行う。中山ランド、中山学園創立など。
昭和26年12月29日69歳で亡くなる。昭和33年6月23日顕彰碑。

⑧ 福原五社神社

大山祇神を祀る。すぐ隣に福原区公民館がある。

① 官衙遺跡



② 道しるべ



③ 大山神社



④ 中山公園



⑤ 中山記念館



⑦ 中山墓地



⑧ 福原五社神社



⑧ ゆくはし良処探訪ウォーキング 「偉人の里 稗田・前田・中川を巡る」

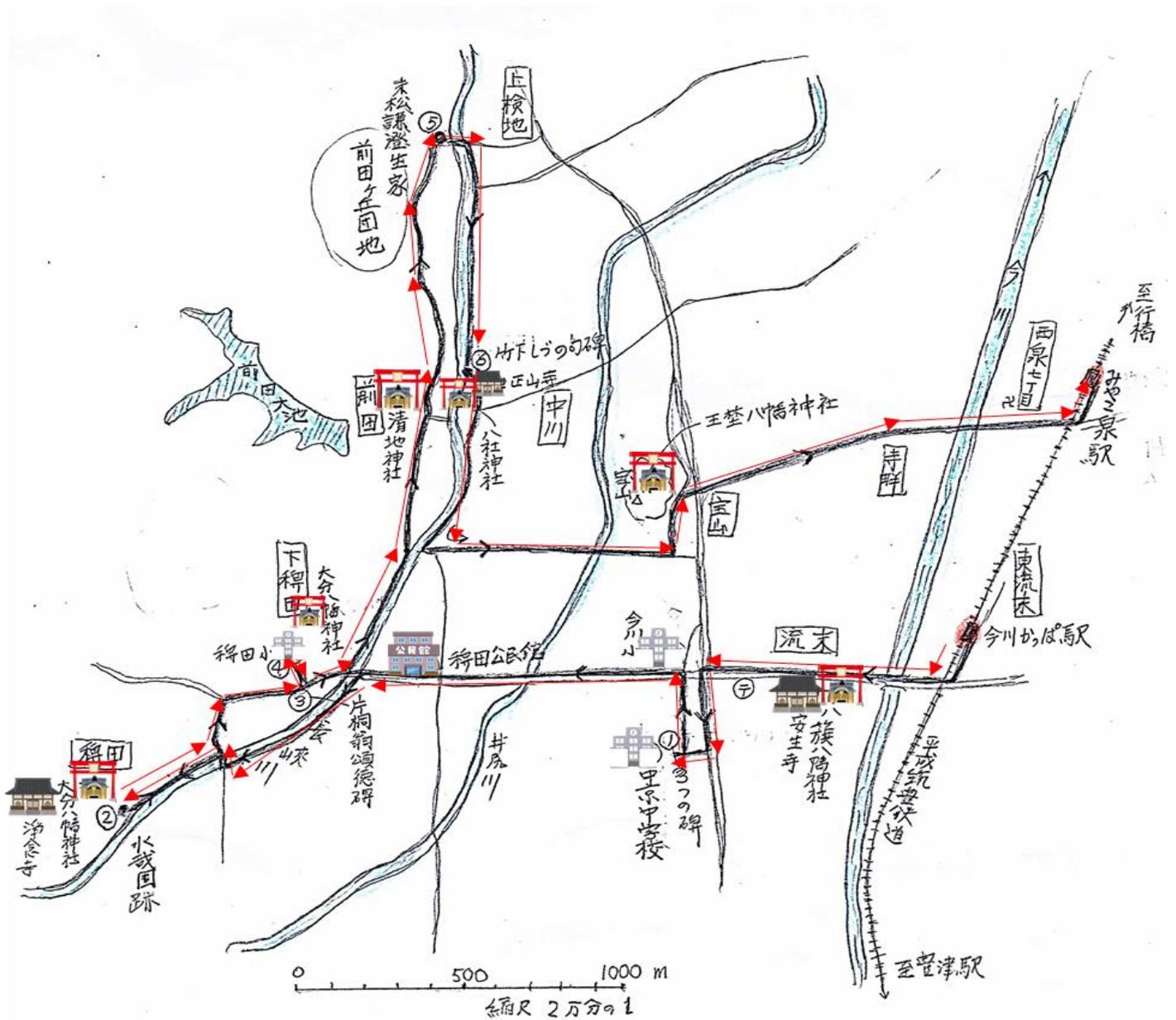
稗田で私塾水哉園を開いた漢詩人の村上仏山、前田で生まれて水哉園で学び伊藤博文の娘と結婚して大臣となった末松謙澄、中川出身で末松謙澄の兄から漢詩の指導を受け有名な女流俳人となった竹下しづの、この3人の偉人を生んだ里を訪ねて歩く。



コース順路 (約9km)

| | | | | |
|-------------|----------|------------|--------|----------|
| スタート | 今川かっぱ駅 | ① 中京中学校の碑 | ② 水哉園跡 | ③ 片桐翁頌徳碑 |
| ④ 稗田小学校の碑 | ⑤ 末松謙澄生家 | ⑥ 竹下しづの女句碑 | 宝山~寺畔 | みやこ泉駅 |

ゴール



① 中京中学校々庭にある3つの碑 (※校門近くにあります。授業の邪魔にならないようお願いいたします。平日ご来校の際は職員室へお声かけください。)

1、「村上仏山先生教学碑」 昭和43年5月10日 村上仏山教学碑建立委員会により建てられた。撰文は友石孝之、書は中村天邨

2、「無題」桜田門外の変で井伊大老が雪中暗殺されたことを詠んだ詩で仙山の代表作として名高い。平成9年8月建立中京中学PTA

3、竹下しづの女句碑「ちひさなる花雄々しけれ矢筈草」平成3年6月中京中学PTA

② 水哉園(仏山塾)跡

村上仏山(1810~1879)が天保6年に開いた全寮制の私塾。「入門帳」によれば、九州をはじめ全国から約1300名が入門、末松謙澄(明治政府の内務大臣)、吉田増蔵(昭和元号の名付親)、安広伴一郎(南満州鉄道社長)などの近代日本の礎を築いた多くの逸材を輩出した。明治17年(1884)閉校

③ 片桐翁頌徳碑

稗田村長を永くつとめ、大谷から天生田へ抜ける新道を開いた功績を称えて大正14年に碑を建てた。元は銀杏ノ木橋の川岸にあったが、平成13年に現在の稗田駐在所横に移設された。

大谷にある「開道記念村長片桐虎吉碑」は、「岩根らものぞきて道をひらきにし人の功も朽ちぬ石文、豊盛」大正5年3月大谷区建立

個人の功績を称える頌徳碑は市内に39基ほどあるが、1個人で2基建てられているのは片桐虎吉だけである。

④ 稗田小学校々庭にある伊藤博文、末松謙澄寄附碑 (校門近くにあります。授業の邪魔にならないようお願いいたします。平日ご来校の際は職員室へお声かけください。日曜日は時間帯により正門が閉まっている場合がありますのでご注意ください。)

明治5年(1872)10月に近代的学校教育を目指した太政官布告「学生頒布」を出す2か月前の8月に開校した最も古い小学校である。寄附碑は「校舎建築費寄附金壹百円侯爵伊藤博文 金貳百円男爵末松謙澄、明治33年(1900)建立」

⑤ 末松謙澄生誕之地碑

碑は昭和55年10月5日末松謙澄顕彰会建立。末松謙澄は、末松房澄の子として稗田村前田のこの地で生まれる。村上仏山の水哉園で学ぶ。イギリス留学中に日本初の源氏物語の英訳を行い、後に、文学博士号を授与され、さらに後年法学博士号も取得。著作は約150篇ある。伊藤博文の娘と結婚し、通信大臣・内務大臣を歴任し子爵に叙された。晩年「防長回天史」を編集し、大正9年全編脱稿し、大正9年10月6日に65歳で没。

⑥ 竹下しづの女句碑

句碑は、中川の八社神社横の長狭川岸にあり、「緑蔭や矢を獲ては鳴る白き 的」を刻む。昭和54年11月3日句碑建立期成会建立。この句は日本を代表する俳誌「ホトギス」の巻頭句である。33歳のとき「ホトギス」の巻頭を飾った「短夜や乳ぜり泣く兒を須可捨焉乎(ステッチマオカ)」の句で、一躍女流俳人としての名声を得た。末松謙澄の兄房泰に漢詩の指導を受けた影響でしづの女特有の漢文まじりの句である。稗田小学校などで教師を務めながら創作に打ち込んだ。

① 仏山の教学碑



② 仏山塾説明版



② 水哉園跡



③ 片桐翁頌徳碑



④ 伊藤・末松の寄附碑



⑤ 末松謙澄生誕之地碑



⑥ 竹下しづの女句碑



⑨ ゆくはし良処探訪ウォーキング 「延永長者伝説の里を巡る」

海が深く入り込んで、近くに奈良時代の重要港・草野(かやの)津があったので、延永は古くから栄えて、ビワノクマ古墳やヤヨミ園遺跡が残り、また延永長者の伝説もある。西南の役で西郷隆盛軍と戦い、その後武勲をたてて元帥になった奥保鞏(おくやすかた)の生誕地でもある。



コース順路 (約8km)

| | | | | | |
|-------------|---------|---------|----------|----------|---------|
| スタート | | 行 橋 駅 | ①ウイズゆくはし | ②長狭川沿い3祠 | ③恒富八幡神社 |
| ④長音寺集会所 | ⑤ 清地神社 | ⑥ヤヨミ園遺跡 | ⑦延徳寺跡 | ⑧ビワノクマ古墳 | |
| ⑨ 春日神社 | ⑩八尋嶽勝平塚 | ⑪延永公民館 | ウイズゆくはし | 行 橋 駅 | |

ゴール



① ウイズゆくはし(行橋市総合福祉センター)

行橋市社会福祉協議会、共同募金会行橋支会、京築地区福祉人材バンク、福祉あんしんサービス事業、心配ごと相談所、行橋市ボランティアセンターなど。

② 長狭川沿いの3祠

- 1、天神社 菅原道真を祀る社殿あり
- 2、水神社 石祠
- 3、厄シ様(厄神社) 石祠

③ 恒富八幡神社

旧郷社、神功皇后・応神天皇・比咩大神を祀り、津熊の氏神。昔、社殿の裏側を流れていた長狭川が、表側へ流れを変えたのではないかと推定され、延永公民館一帯の地域が、川で引き離されてしまったと思われる。

④ 長音寺集会所(観音堂)の餓死者供養塔

享保17~18年(1732~3)の大飢饉で人口の25~30%が餓死し、その供養のため建立(市内で13基あり)。「大乘妙典一字一石口、京(享)保十八年、餓死亡者有縁無縁□」

⑤ 清地神社

素盞鳴命、五十猛命を祀る。明和8年(1771)8月20日鎮座。

⑥ 延永ヤヨミ園遺跡あと(道路建設により標識はない)

東九州自動車道と国道201号バイパス工事で発掘調査された古墳時代から奈良時代に及ぶ遺跡で、特に、奈良時代の大型建造物は近くにある草野津や椿市廃寺などとの関連した役所であった可能性がある。

⑦ 延徳寺跡の宮相撲力士の碑

「真魂社頭取龍巻勇平塚」明治16年(1883)8月建立。

⑧ ビワノクマ古墳

昭和30年9月6日県指定史跡。昭和30年に延永地区戦没者墓地を建設中に発見。行橋市教育委員会が九州大学に依頼して発掘調査。銅鏡、勾玉、ガラス玉、大刀、短剣、矢筒、桂甲などが出土した。5世紀前半頃の代表的な在地首長墳である。

⑨ 春日神社

・長い参道を大正から昭和のはじめにかけて改修したことを刻んだ石造品。
「焼米道路改修寄付者」大正14年5月と「(め柱右柱)御大典爲記念道路改修敷地百三坪」
・「ノモンハン(事件の記念品) 昭和14年7月 陸軍少佐 吉武寛治」
・「奥元帥手植之松」明治39年3月「奥元帥手植松枯死の爲奥家樅を植える」
昭和56年11月奥保鞏(おくやすかた)は延永に生まれ、西南の役で熊本場内から西郷隆盛軍の包囲を突破して、場外の救援との連絡に成功する軍功をあげ、その後、各地を転戦して昇進し、明治44年(1911)元帥号を贈られた。元帥となったのは僅か30名しかいない。偉くなくても政治には関与しなかった。

⑩ 宮相撲力士碑「真魂社長 八尋嶽勝平塚」

明治23年(1890)10月建立。市内に18基の力士碑がある。

⑪ 延永公民館にある「軍人記念碑」

明治32年(1899)3月建立。西南の役~日清戦争で戦死した兵士の名を刻んでいる。特に、西南の役での記銘は、市内ではこの一基のみである。

② 水神社 石祠



③ 恒富八幡神社



⑤ 清地神社



⑧ 説明版



⑧ ビワノクマ古墳



⑨ 春日神社



⑩ 八尋嶽勝平塚



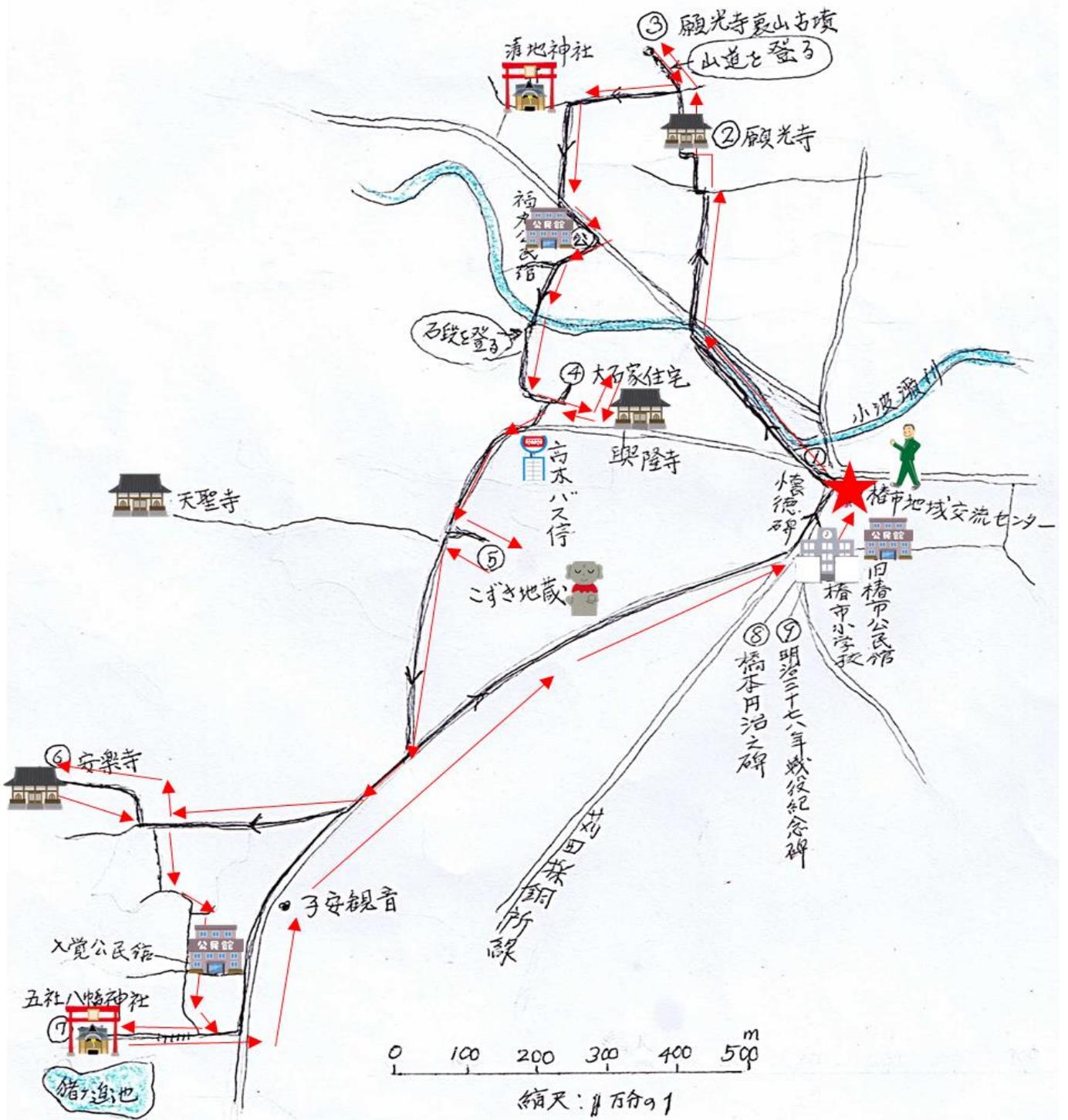
⑩ ゆくはし良処探訪ウオーキング「古代寺院跡など古来ひらけた椿市を巡る」

古代寺院(椿市廃寺)跡に願光寺が建っており、寺のすぐ後ろの山すそに願光寺裏山古墳がある。また、近くにも古墳があることから、椿市が古来からひらけた土地であったことがわかる。行橋市の北西で最も奥にある椿市地区を訪ねてみませんか。



コース順路 (約5km)

| | | | | | |
|-------------|---------|----------|------------|----------|-----------|
| スタート | | 椿市交流センター | ① 懐徳碑 | ② 椿市廃寺跡 | ③ 願光寺裏山古墳 |
| ④ 大石家住宅 | ⑤ こずき地蔵 | ⑥ 安楽寺 | ⑦ 五社八幡神社 | ⑧ 橋本円治之碑 | ⑨ 戦没記念碑 |
| | | 椿市交流センター | ゴール | | |



① 安田雲齋懷徳碑

代々医者の家の長男で家業を継ぐ。村上仏山や藤本平山に学び詩歌をよくした。
県議、京都郡医師会長などを歴任し、昭和3年92歳で没。
碑の額は小笠原長幹、撰文は吉田学軒で大正10年3月建立。



① 懷徳碑



② 椿市廃寺跡(願光寺)

7世紀末～8世紀前半頃に建てられ、9世紀まで存続した古代寺院。
1977年からの発掘調査で、塔・金堂・講堂が南北に一直線に並び四天王寺式
配置であることがわかった。推定三重塔であった塔心礎が門西脇に移され現存する。
境内に安田雲齋の父安田耕雲の碑「耕雲先生・安田君・随翁処士」がある。
60歳で雲齋に家督を譲り、明治26年80歳で没。

② 願光寺



③ 願光寺裏山古墳

7世紀中頃築造、単室・両袖式横穴石室。
すぐ近くの椿市廃寺との関連があったかも知れない。

④ 大石家住宅



④ 高来・大石家住宅

農家建築としては行橋を代表する建物であって、文政11年(1828)の建築。
先代の高石高平は郡会議員で、平尾台の千仏鍾乳洞の開発者として知られている。

⑤ こずき地蔵

⑤ こずき地蔵

こずき地蔵は咳を止めてくれる地蔵という。ハッタイ粉を備え、地蔵が当てている
アテコ(腹かけ)を、持参したアテコと取り替えて家に持ち帰り、風邪を引いている
子供にかぶせると、咳がとまり風邪か治るといふ。なお、豊前地方には他にも
こずき地蔵がある。



⑥ 安楽寺

今井の浄喜寺・西福寺とともに、行橋市内の代表的な寺院建築で、幕末から目地
明治前期に建築された。

⑥ 安楽寺



⑦ 五社八幡神社

文和13年(1830)の建築と思われる大型社殿で、行橋市内で代表的な神社建築。
行橋市史でも下稗田の大分八幡神社、大谷の小鳥神社、行事の正八幡神社、
蓑島の蓑島神社、稲童の安浦神社などと共に紹介されている。拝殿に、三十六歌仙
の絵馬が残り、石段入口に市内有数の楠の大木あり。



⑦ 五社八幡神社



⑧ 頌徳・橋本円治之碑

椿市村村長を長く努め、村の発展に尽力した橋本円治氏をたたえて、昭和27年に
椿市村民が建立した。

⑧ 橋本円治之碑



⑨ 明治三十七八年戦没記念碑

書は、陸軍大将奥保鞏、裏面の撰文は秋満有常。
明治44年帝国在郷軍人会椿市村分会が建立。



発行：行橋市 健幸つなぎ隊 ウォーキング班
協力：行橋市役所 地域福祉課 健康づくり推進係
発行年月：令和6年3月